

～ 受給者からのメッセージ ～

<小学校4年生より>

私の知らない人が、知らない内に私達を助けています。
自分の服、自分の食料、自分の家があるのは人を助けたい
と思う人、いや、人を助けたいと思う人々の気持ちのお
かけです。学校に行き、遊んで笑うという幸せは、
一人一人が作って助け合って、やっとできると私は
みな様からまなびました。本当に、ありがとうございます
います。



<小学校5年生より>

寄附をしてくれてありがとうございます。

わたしは、小学5年生になりました。11月には花山合宿に行って、山のぼりや、やき板づくりをしました。とても楽しかったです。来年は6年生なので、他の学年を支えられるようにがんばりたいです。



<小学校6年生より>

私は今、塩竈市に住んでいます。震災の前は石巻に住んでいました。震災の時はまだ0才のころで全く震災のことは覚えていません。でも祖母や父、テレビなどの報道でその震災がとても大変だったということを知りました。私はこの震災で母を亡くしました。まだ私は小さかったので母のことは覚えていませんが父が母のことをよく話をしてくれたり写真を見せてくれたので母はやさしくて、素敵な人だったのだなと思いました。私も母のようなやさしくて、素敵な人になりたいと思います。🐣

<小学校6年生より>

寄附ありがとうございます。おかげで生活しやすくなります。私は小学6年生なので、必要なお金が増えていきますので、本当に助かります。

<中学校1年生より>

私は今年から、中学生になりました。

いろいろ大変なことはありますが、これからも部活と勉強とがんばりたいと思います。

寄附もして下さって、ありがとうございます。



<中学校2年生より>

寄附金、送ってくださりありがとうございます。

寄附金も送って頂くことで私や、家族との生活が成り立っていると思っております。

こうして、豊かな学校生活もおくれと、毎日幸せに過ごしております。

おいしいご飯も食べれて、毎日笑って過ごせて、私は寄附金を送ってくださる方々のおかげです。食べることにもお金が必要で、

学費にもお金が沢山必要で、寄附金をもらって食費、学費もはらえています。

寄附金を送ってくださる方々に日々感謝し、旧日、大切に過ごしていきたいと思っております。

< 中学校 2 年生より >

「東日本大震災みやぎ子ども育英基金」にご協力いただき、本当にありがとうございます。私は中学2年生で、毎日頃から勉強をし、成績ではいつもトップレベルです。漢字検定では2級、英語検定では準2級を合格していて、今では更に上の級の勉強をしています。この状態を維持できた要因には、基金を寄せてくださった方々が含まれます。もうすぐ3年生になり受験生になります。受験生になったら志望校に合格できるよう、更に勉強したいと思えます。改めて寄付をしてくださった皆様に感謝を申し上げます。ありがとうございます。



< 中学校 2 年生より >

寄附をして下さっている皆様、ありがとうございます。私は、吹奏楽部の部員としてフルートを吹いています。夏には吹奏楽コンクールに出場し、県大会金賞をいただくことができました。また、秋にはコンサート、12月にはアンサンブルコンテストとソロコンテストに出させていただきたくさんのことを学ぶことができました。これからも、たくさん練習していきたいです。

勉強面では、2年生になり、だんだん難しくなってきましたが、来年の受験に向けて、コツコツと勉強していきたいです。また、志望校についても考えていきたいです。

学校生活はとても楽しく、友達と毎日笑顔で過ごしています。これも、皆様の温かいご支援のおかげです。

本当にありがとうございます。

<中学校3年生より>

僕は今年の7月に部活動が終わり、今は受験に向けて勉強を頑張っています。

皆様からの寄附のおかげで勉強に集中することができます。

今まで寄附をしてくれた方には、感謝しかありません。

本当に今までありがとうございます。

<高校1年生より>

私は寄附してくれた方々に感謝しています。

今私は勉強に力を入れてます。昔から苦手だった数学も、最近ではテストで良い点を取れるようになってきました。

それから私は絵を描くのが好きで勉強の合間に絵を描いて休憩しています。

私が今こうして勉強や趣味を楽しむのも、みなさんが寄附してくれたおかげです。

ありがとうございました。

<高校2年生より>

この度はありがとうございます。

私は高校に入学して陸上競技を頑張っています。

新人戦では、走高跳と7種競技で宮城県優勝し、チームに貢献することができました。

来年はインターハイ出場できるように努力します。

全国でも活躍できる選手になって、東北に栄誉を持ち帰ってきたいです。

3年生は選抜でたくさん悩むと思いますが、悩み続けて自分にとって良い選抜とけるようにしたいです。

<高校3年生より>

いつも、ご支援をさせていただき ありがとうございます。

震災以降、不安な日々ばかりでした。このようなありがたい支援のおかげで、元気に過ごすことができました。

これから10年が経ち、本当におつという間でした。

小学1年生だった私も高校3年生で、来年からは東京の大学に進学し、地元を離れて、一人暮らしをします。

みやぎ子ども育英基金さんの支援がなければ、今の様な状況にはなっていないと思います。本当に感謝の気持ちがありません。これからも、頑張っていくので、よろしくお祈りします。ありがとうございます。

<高校3年生より>

震災から早10年、私は高校3年になり、高校生活を残り少なくなりました。

進路も決まり、専門学校に進学することに決まりました。

皆様からの寄附のおかげで大きく助けられました。

今後、新しい環境でも頑張っていきます。

<高校3年生より>

育英基金奨学金をいただけるようになってから自分の夢だった調理学校に挑戦して合格できました。

全国の皆さんの寄附のおかげでもあるので、

来年春の入学後は皆さんの期待を背負ってがんばりたいと思います。

<高校3年生より>

私は今、とても楽しく充実した日々を送っています。

私は今高校3年生で進路が決まり、冬休みになりました。

高校最後の冬休みはたくさん友達と遊び、バイトも頑張りたいと思います。

4月からは新しい環境で、専門学生として頑張っていきたいです。

残りの高校生活短いですが、くいの残らないように毎日を大切に過ごしていきたいと思っています。

いつも応援していただきありがとうございます。

<高校3年生より>

いつもありがとうございます。皆様の力のおかげで私はさまざまなことに挑戦し、目標を達成することができました。特にお伝えしたいことは部活のことです。私は書道部に所属しており、去年は書道コンクールでの受賞は一つのみでしたが、今年は二つ受賞し、さらにもう一つの作品は去年よりも大きな賞をいただきました。書道経験のある人達と同じくらいの経験ができたのも、すばらしい環境で学ぶ機会を与えてくれた皆様の協力のおかげです。今は大学合格に向けて勉強に励んでいます。社会に出たときに直接的な恩返しにならなくても、私も皆様の力になれるように、これからも学びを深めていきたいと思っています。

<高校3年生より>

私は受験が終わり、趣味に没頭できる時間も増え、ギターの練習を日々しております。私の将来の夢は作曲家で人々の記憶に残る曲を作りたいと考えています。3月11日の東日本大震災も年が過ぎるたびにどんどんあの恐怖も忘れられていくと思います。

私は、音楽の力によって人々の記憶から忘れさせないようにしていけたらと思います。

<大学1年生より>

いつも温かなご支援ありがとうございます。

私は、北海道の大学に進学したため、昨年からは親元を離れ一人暮らしをしています。皆様のご支援のおかげで、経済的な面を心配することなく、有意義な大学生活を送ることができています。これからの大学生活におきましてたくいんのことや学び、社会に貢献できるおな大人になることも目標に日々努めてまいります。今後ともご支援よろしくお願い致します。

<大学1年生より>

日頃より温かいご支援ありがとうございます。

私は今、大学で保育士になるための勉強に励んでおります。

夢のための勉強や楽しい大学生活を送れているのは皆様のおかげです。

本当にありがとうございます。

保育士になるという夢を叶えるために今後頑張っていけるので、これからもどうぞよろしくお願い致します。

<大学1年生より>

いつもありがとうございます。
おかげ様で、楽しく大学生涯を送ることができています。
勉強はむずかしいですが、友達もでき、毎日大学に行くのが
楽しいです。
これからも、よろしくお勉強します!!

<大学1年生より>

今年は高校を卒業し、志望していた学部のある大学に入ることができ
ました。将来の夢に向けての資格取得のための勉強は大変難しいですが、
志望していた大学で勉強できる喜びを実感する日々です。

また、コロナ禍でも新たな趣味を見つけることもあり楽しい毎日を送り、暗い
世の中でも希望を持って生きています。なので、将来はこれまで支えられていた分
以上に社会を、人々を支えたいと思っています。

<専門学校1年生より>

私は、今、幼稚園教諭と保育士資格を取る為に保育科のある短期大学へ
通い、一人暮らしをしています。ピアノの課題や製作物の作成、指導案の作成の
仕方等たくさんを学び日々忙しいと感じながら生活しています。皆様のご支援
のおかげでこんな充実した生活を送ることができていることにとても感謝しています。
時には、辛くて苦しい事もあつたりすると思いますが、皆様のご支援があつてこそ
将来の夢を叶える学習ができているとしっかりと心に留めて来年も頑張っていきたい
と思います。実習、就活と2年生はもっと忙しくなると思うので1つ1つ着実に
クリアしながら頑張っていきたいと思っています。これからも、ご支援よろしくお願
いいたします。

<専門学校1年生より>

温かいご支援をありがとうございます。

私は今年が助産師の養成学校を卒業し、4月からは夢であった助産師として働くことになりました。

温かく支えて下さったおかげで夢を諦めることなく、

頑張ることができていることに本当に感謝しています。

これから、多くの方々と関わり合っていく中で、私も、

少しでも誰かの支えになれよう、という努力をしていますと思っております。本当にありがとうございます。

<大学1年生より>

コロナ禍の中慣れない環境で、様々な問題や課題に直面し四苦八苦したこともありました。また社会の大きな変化により、多くの学生が諦めてしまうという話も聞きました。そのような苦悩の中、自分の夢を追うことができ、生活に不自由なく勉学に専念できているのも、支援してくださっている皆様のおかげです。まだ大学生活は始まったばかりですが、支えてくれた方々に感謝し、将来次の世代を支えることができる人材になれるよう努力していきたいと思っております。

<大学1年生より>

いつもお世話になっております。

私は昨年、短期大学に入学し、今年の4月からは2年生となり、2月から本格的に就職活動が始まってまいります。

上京し、初めての一人暮らしや大学生活、また、コロナ禍での授業や生活などで、自分の暮らしに慣れることで精一杯で、他の事には何も手を回せない状態でした。

私は皆様から寄付して頂いている奨学金は母に管理して頂いています。1人親家庭である、実家の家族から支援してもらう事も多く、その度、親子共々、皆様から奨学金に大変助けられております。本当に、ありがとうございます。

最近は徐々にこの生活にも慣れてきており、生活以外にも手を回せるようになってきました。これも皆様からのご支援があってこそだと思っております。

これからももう少し、皆様のお力をお借り致しますが、どうぞ見守って頂ければと思います。よろしくお願いいたします。

<大学1年生より>

いつもありがとうございます。お世話になっております。

最近は大学生活にもようやく慣れてきて、楽しく過ごしています。一人暮らしにも慣れてきたので、大学2年生からはアルバイトや自炊なども頑張りたいと考えています。また、大学生活については、今後留学したいと考えているので、引き続き勉学に励みたいと思います。また、寄附して頂いた方々の思いに応えられるように、努力していきたいと思えます。私たちを支援してくださる方々に、重ねてお礼申し上げます。

<大学1年生より>

現在、私は大学生です。関東にある農業系の大学に入学し、1人暮らしをしています。新型コロナウイルスの影響で対面授業は多くはありませんが、私の学校では実習があり、実際に外に出て農業について触れたり、対面授業やオンライン授業でも高校では習わない発展したことが学べたり、この1年で多くの経験と知識を得ることができました。自分が学びたいと思っていたことを勉強しているので、とても楽しいです。

また大学生活を通して、たくさんの友達もできました。私は1人暮らしのため、気軽に友達を呼ぶことができ、お泊まり会やパーティーなどをしました。そして、大学は全国から色々な人が入学してくるので、友達の話聞くだけでも勉強になることがありました。これからも多くの人と交流することで、授業以外にもさまざまな経験や知識を得たいと思っています。

<専門学校1年生より>

去年の4月頃に福祉系の専門学校に進学することが出来ました。中学生の時から介護の仕事に興味があり今は、介護福祉士を目指し勉強や、実技に励んでいます。これからも頑張っていきたいと思います。

支援していただいている皆さんありがとうございます。

<大学2年生より>

寄附をしてくださる皆様、ありがとうございます。
震災から約11年が経とうとしている今でも、昨日のことのようにあの日が忘れられません。私は、震災を「乗り越えた」と簡単に言えませんが、当時より確実に前を向けています。それは、大学進学という一つの夢を達成できたからだと思います。この夢が叶ったのは、支援して下さった、寄附して下さいた皆様のお陰です。本当に感謝しております。
社会に少しでも貢献できる人間になれるように、勉学に励んでいきます。

<大学2年生より>

本来であれば、大学に行くこともできなかったところを、
こうして奨学金という形で支援していただいたおかげで
たくさんの選択肢がうまれました。
やりたいうことを探せるということにとてもありがたさを感じて、
何か違う形ででも私も人の役に立ちたいと強く思えるように
なりました。
とても感謝しております。
ありがとうございます。

<大学2年生より>

奨学金のおかげで、大学への交通費軽減や勉学に必要な教材の購入などが出来ています。自分にとって本当に感謝しかありません。
ありがとうございます。

<大学2年生より>

いつもたくさんのご支援をありがとうございます。現在、大学での勉学に励んでいます。今年は実習等もあり、得ることが多かったと感じています。来年、大学3年になるので、自分自身と向き合ういい機会だと思って、進路についてよく考えて決めたいです。
これからも色々なことに挑戦しながら頑張っていくので、応援よろしく
お願い致します。

<大学2年生より>

私は今、仙台の大学に自宅から通学しています。2年生後期の科目は専門的な分野が多くなり、講義についていくのに必死ですがなんとか日々を過ごしています。
育英基金さんから頂いた奨学金は大学の教材代や、通学費などに使用させてもらっています。とても助かっていますしおかげで勉学に励むことが出来ています。
支援して頂いている分、これからも専門教育をしっかり学び、社会に貢献できる人間になれるよう努めていきたいです。

<大学2年生より>

震災の日から10年以上が経った今でも、何よりも大切な、愛する家族を失った傷が癒えることはありません。気持ちや思い、心身の状態に変化はありますが、何事も無かったような顔で、新しい場所で息を吸って、吐いて、時にはおいしい食事を取り、友人らとお金を使って楽しむ自分の存在に嫌気がさし、のうのうと生き延びていることを疑問に思うことには変わりありません。この10年間以上、ずっとという訳ではありませんが、身の回りのささいなこと一つ一つから何かを考え、涙を流し、心の中で叫ぶ日々を送ってまいりました。今この瞬間も自分が生きていることの価値を疑い続けております。

そんな、虚しく惨めな状態にある私が自らの人生に終止符を打たずにいられるのは、私をこれまでも、今も、これからも生かし続けてくれるのは、残された家族を哀れみ、愛する気持ちはもちろんですが、親を失い、思い出からどんどん遠ざかり、思い描いていた幸せな未来=今をも失った私たちのことを思い、温かい支援の手を差し伸べて下さった皆さまの存在です。この場をお借りして、これまでのご支援と今のご支援に対し、感謝申し上げます。見ず知らずの私たちのためにして頂いたことを、今もこれからも、忘れることはありません。

<専門学校2年生より>

ご支援頂きありがとうございます。みなさまのおかげ様で私は丈夫に20歳というふしめの歳を迎えることができました。コロナ禍の中、成人式もできるか分からなかった世の中ではありましたが、何とか成人式を迎えることができとても心から安心することができました。まだまだコロナの影響は収まりを見せませんが、みな様も体に気をつけて元気にお過ごし頂くことができるよう、常日頃から願っております。

震災当時、小学校4年生だった私と、現在大学3年生になりました。この10年を振り返ると、辛い事も、悲しい日々を思い出してしまう事は何度もありました。その時に私と周囲には、支援をしてくださる方々や、支えてくれる方々が沢山いるんだという強い気持ちを持たなければならなかった。

来年からは本格的に就労活動がスタートします。自分の10年間の振り返り、何がしたいのか...と考えると、誰かのために「私を支えてくれたら、今年は誰かを支えたい」という想いが一番にあります。私自身も、子どもと関わる事が大好きなので、大学では保育について勉強しています。また、実習やアルバイト先で、隣組さんを抱えている子どもと関わる事があります。

隣組さんを抱えている子どもが、できることかできるようにサポートし、話をできるようにサポート時はすごく嬉しい気持ちになります。この日は、子どもも障害を抱えている子どもを支えて、一緒に成長していきたいと思うようになりました。

「誰かのために何かをしたい」という想いを持つたのは支援をしてくださる方々のおかげです。

私は、この沢山の苦難にあうことがあふれると思えますが、みなさんからの温かい支援に感謝を続け、頑張っています。文章からではありませんが、本当にありがとうございました。

<大学3年生より>

大学3年間、育英基金の方々から支援をいただいていたので、何不自由なく大学生活を送ることができました。支援をしてくださり本当に感謝しています。私は今年で、大学を卒業して春から歯科衛生士として働くことになっています。そのため国家試験が3月にあるため、毎日勉強に励んでいます。

3年間、勉強や実習などで忙しく大学生活を送りましたが、たくさんのことを学べ充実した3年間でした。国家試験に合格して4月から歯科衛生士になれるよう頑張っていきたいと思います。

<大学3年生より>

本来ならば諦めるべき医師になるという夢を、みやぎこども育英金により追うことができしております。

様々な方から支援を頂いていることを忘れることはありません。日々勉学に向き合い、将来人を支えられる医師になることで恩返しができると考え、精進しております。

心より感謝申し上げます。

<大学4年生より>

東日本大震災発生から今年で11年になり、当時小学5年生だった私は大学4年生となりました。

今に至るまで、たくさんの方々からご支援をいただき、勉学に励むことができました。そして、これからは新社会人になるにあたり、社会に貢献できるよう精進していきたいと思います。

<大学4年生より>

ご寄附をしてくださった皆様へ

いつもお世話になっております。

震災から10年が経ち、11年目の3月を迎えようとしている現在、
当時小学校5年生だった私も、大学4年生になりました。

あの時は絶望の中でこうした未来が待っているとは思っていません
でした。現在のような恵まれた環境で生活できているのも
寄附してくださった皆様のおかげです。

4月からは社会人となります。この恩を返していけるように、私自身も
社会に貢献していきたいです。

いつもご支援ありがとうございます。今後ともよろしくお願い致します。

<大学4年生より>

いつも大変お世話になっております。

大学4年最後の試験も終わり、研究室配属に向けて日々勉学に励んで
います。

今年は学外実習や2年後の薬剤師国家試験への対策が始まるため、よ
り一層気を引きしめて頑張っていきたいと思っています。

コロナにより、制限がかけられた学校生活ではありますが、将来に向
けて必要な知識を蓄える有意義な時間を過ごしています。

今後ともどうぞよろしく願いいたします。